

いなべ地域ミルクィーンブランド研究会【いなべ市】

- 郵便局のお米頒布会での取扱いが順調、全国 130 銘柄のうち 25 位と上位で評価！
- さらなる収益向上に向け、県内酒造会社と連携し日本酒『猪名ひめ』の製造・販売を開始！

取組地域の概要

三重県の最北端に位置するいなべ市は、鈴鹿山脈と養老山地に囲まれた立地条件から、多くの農地が中間・山間農業地域に位置している。

山からの湧き水を水源として、古くからため池やマンボ（地下水路トンネル）が施工され、県内有数の水田農業地域として発展している。



全国の銘柄米と並ぶ高価格帯で販売されているミルクィーン

取組の背景

農業の中心は米栽培で、主にコシヒカリが栽培されているが、米価低迷の影響を受け収益が悪化していた。このような中、いなべ市の直売所からの呼びかけで、地域の担い手農家が「いなべ地域ミルクィーンブランド研究会」を立ち上げ、いなべ産のミルクィーンのブランド化をめざして取組をスタートした。

取組のポイント

ポイント1 他産地との差別化を図るため、米の栽培方法を改善

- ・ 他産地の米に劣らない特色を出すため、一般的な栽培方法よりも農薬使用回数を3割以上削減している。また、品質の向上に向け、食味検査の実施により、栽培方法の改善にも取り組む。

ポイント2 ミルクィーンの販路拡大

- ・ 粘りが強くモチモチとした食感が特徴の「ミルクィーン」の販路拡大を図るため、平成27年から、日本郵政のグループ会社と契約して「郵便局のお米頒布会」での販売を開始した。
- ・ いなべ産ミルクィーンは郵便局の頒布会で全国130銘柄のうち25位の売り上げで上位に評価された。現在、郵便局の頒布会はミルクィーンの販売先の一つとして、重要な位置づけとなっている。

ポイント3 ミルクィーンを使用した日本酒を製造・販売

- ・ 加工による収益性向上を目的として、県内の酒造場と連携し、ミルクィーンを掛米として使用した日本酒『猪名ひめ』の製造・販売を開始した。
- ・ 「猪名ひめ」は直売所「うりぼう」で販売されており、主食用のミルクィーンの販売促進にもつながっている。



ミルクィーンを使った純米酒

今後の展望

引き続き、ブランド化を進めるとともに、さらなる販路拡大を図る。

◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県桑名農政事務所農政室地域農政課
電話 0594-24-7421